岐南中学校　国語科　第三学年　第四回　学習プリント

握手　四時間目　　**井上　ひさし**

課題　「わたし」と「ルロイ修道士」の三回の握手に込められた思いを読み取ろう。

◎三回の握手に込められた二人の思いを読み取ろう。叙述は本文より書きぬき、込められた思いについては、自分で考えてみよう。

	最初の握手（回想①）	二回目の握手	三回目の握手
ページ	P19 L15 ～ P20 L1	P20 L2 ～ P20 L3	P26 L20 ～ P28 L3
誰から誰	ルロイ修道士 から わたし	ルロイ修道士 から わたし	わたし から ルロイ修道士
叙述	・【万力　】（2字）より も強く ・腕を【勢いよく】（4字）上下させる ・こっちのひじが机の上に立ててあった聖人伝にぶつかって、腕が【しびれた】（4字）	・頼もしかめる必要はなかった。 ・実に穏やかな握手だった。 ・ルロイ修道士は病人の手でも握るようにそっと握手した。	・わたしは右の親指を立てそれからルロイ修道士の手をとって、しっかりと握った。 ・それでも足りずに、腕を上下に激しく振った。 ・「痛いですよ」ルロイ修道士は顔をしかめてみせた。
込められた思い	力強く、頼りになる握手。身寄りがなく、寂しい思いをそ[illegible]わたしを迎えるにあたって、安心しなさい、私があなたを守ります という強い意志を込めた。	実に穏やかな握手。立派に成長したわたし見て、安心している気持ち。しかし、病気になってしまっているため、そっと握ることができなかった。	わたしはかつてルロイ修道士がしてくれたように、弱っているルロイ修道士を励ましたいという強い思い。ルロイ修道士が「痛いですよ」と顔をしかめたのが、（かつて見ていたことであり）教え子に受け継がれている。この瞬間こそに、人生の醍醐味や意義が感じられる。

◎【学習のまとめ】三回の握手の違いを簡単にまとめよう。